

トルクレンチ取扱い説明書

TQW-3



ご使用前に必ずお読み下さい！（説明書は大切に保管して下さい。）

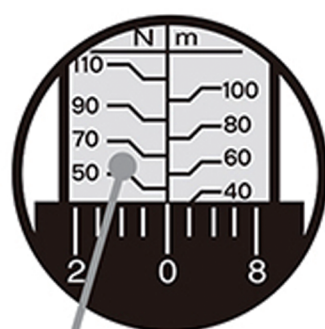
- 最大目盛以上、最小目盛以下のトルクでは使用しないで下さい。
- 設定以上のトルクを加えるとボルト、ナットが破損し事故になる恐れがあります。
(差しこみ不足や荷重が大きすぎる場合にはラチェットがスリップしたり壊れる原因となります。)
安全の為、足場の悪い所や作動中の機械の周辺では作業しないで下さい。
- トルクを感知したあとはレンチを回さないで下さい。過荷重による事故につながる恐れがあります。
- 使用しない時は目盛りの一番低いところにセットして保管して下さい。
- ハンドル部にパイプ等を継ぎ足しての使用や、ハンマーで叩いたり、足で踏んだりの使用はしないで下さい。
- レンチの分解や調整は絶対にしないで下さい。
- このトルクレンチは出荷時に厳密な調整をしていますが、特に精密な作業には構造上向きません。又、軟質材の締付けには注意して下さい。締めすぎによる破損等には責任を負いません。

ご使用方法

- 1 左手でレンチの中心を持ち、レンチの下部に付いている“ロックツマミ”を左に回してロックを解除し、グリップを緩めます。
- 2 グリップを回してトルク目盛りを合わせます。ファインスケールの1目盛りは0.5 N・mです。0から0まで半回転で10.0 N・mです。

トルクセッティング例

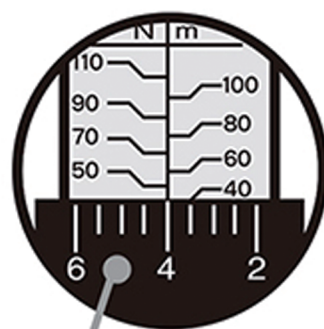
40.0 N・mにセットする場合



ベーススケール〔パイプ部目盛〕

ベーススケール（パイプ部の目盛り）の40をファインスケール（グリップ部の目盛り）の0に合わせます。ロックツマミを回してロックし、固定します。

44.0 N・mにセットする場合



ファインスケール〔グリップ部目盛〕

40 N・mに合わせた後、ファインスケール（グリップ部の目盛り）を右に回して4に合わせます。ロックツマミを回してロックし、固定します。

*[40 + (0.5 × 8)]
*1目盛りは0.5 N・m

- 3 ソケット等をボルトやナット等にしっかり差し込み、レンチを“カチッ、”と音がするまで回します。音のした時点でセットしたトルクでの締め付けが完了です。

トルク換算表

kgf・m	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	20	21
N・m	9.8	19.6	29.4	39.2	49.0	58.8	68.6	78.5	88.3	98.1	196.1	205.9
N・m	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	20	30
kgf・m	0.102	0.204	0.306	0.408	0.510	0.612	0.714	0.816	0.918	1.02	2.04	3.06
N・m	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150
kgf・m	4.08	5.10	6.12	7.14	8.16	9.18	10.20	11.22	12.24	13.26	14.28	15.30

●1kgf・m=9.8066N・m ●1N・m=0.101972kgf・m



タイヤ交換時のホイールナット締め付けトルク値はメーカー、車種によって異なっております。ご使用前に必ずお手持ちの取扱い説明書で適正トルク値を確認のうえご使用下さい。また、トルクのセッティング後は必ず“ロックツマミ”を右に回し、ロックしてからご使用下さい。



このトルクレンチは20 N・m～110 N・mまでの範囲でお使い頂けますが、機構上約50 N・mを超えたあたりからハンドルが固くなります。手で回しにくい場合は、お手数ですがソケット等を取り付け固定し、ハンドルを回すと比較的回し易くなります。また、安全の為、セット時や作業時には作業手袋等を着用して下さい。